

デイドエース

泥土圧推進工法は、掘削土砂の塑性流動化を促進する為に添加材を注入しながら、カッターヘッドで掘削した土砂を攪拌し、加圧・安定を図りながら排土する工法です。従来掘削添加材として、粘土・ベントナイト系が使用されていましたが、排出土量の増大とその運搬・処理、さらに加泥設備の大型化に伴う諸問題が発生してきます。

これらの諸問題を解決し、より優れた性能を発揮させるべく開発された商品が「デイドエース」であり、より高い粘性と止水性を有し、掘削土砂を塑性流動化させ排土をスムーズに行わせる為の材料であります。

デイドエースの特長

1. 高い粘性と止水性を有します。
2. 工場生産の為、品質が安定しています。
3. 使用量の低減が図れ、作業環境が向上いたします。
4. 有害物質を含んでいません。

デイドエースの物性

デイドエースの化学成分

SiO ₂	Al ₂ O ₃	Fe ₂ O ₃	CaO	MgO	Igloss
55.6%	12.4%	2.7%	0.9%	1.5%	15.5%

デイドエース添加量と粘性

掘削土質	基本添加量	注入率
粘土～シルト	0～10kg/m ³	0～20%
細砂～粗砂	10～15kg/m ³	10～30%
粗砂～細礫	15～20kg/m ³	20～30%
細礫～粗礫	20～30kg/m ³	30～40%

デイドエースの添加量は水1m³に対しての量で示されています。

デイドエースの使用方法

1. グラウトミキサーに所定の水を添加してください。
2. ミキサーを攪拌しながら、あらかじめ計量したデイドエースを投入してください。
3. 15分程度攪拌して頂き、スラリーが均一になれば加泥材が出来上がります。

製品外観と安全性

デイドエースの外観	灰白色・粉体
デイドエースの荷姿	10kg/紙袋入り
劇毒物取締法：毒物	該当せず
消防法：危険物	該当せず
労働安全衛生法：危険物	該当せず